

第1回 RFS in 小田原

ペロブスカイトと化学系技術者のための塗工乾燥レビュー

初回は「Roll To Roll塗工乾燥を数式なしで解説」と「ペロブスカイト太陽電池の最新情報」を提供します。セミナー後はカジュアルな質疑に併せ、参加される方々のネットワーキングできる場も設けます。金曜午後を小田原駅そばの対面セミナーで過ごしてみませんか？

日時 3月22日(金) セミナー(13時～16時)、ネットワーキング(16～18時)

場所 おだわら市民交流センター-UMEKO 第9会議室

(小田原駅東口駐車場 1F) 小田原市栄町1-1-27 <https://umeco.info/use/access/>

定員 11名

参加費 [Aコース] ￥10,000(税込) (13～17時)

[Bコース] ￥12,000(税込) (13～18時：懇親会込み)

内容 (1) Roll To Roll基礎と最新技術セミナー (講師:AndanTEC 浜本伸夫)
(2) ネットワーキング→ 懇親会(希望者のみ)

申込 AndanTEC ウェブサイトの問合せフォームにて承ります。
ウェブサイトの[セミナー問合せ]→[24.3.22 小田原駅前 対面セミナー]



【プログラム】

13:00～13:30 第1部 「ペロブスカイト開発の塗工・乾燥」

… 開発者を独自に訪問取材した最新情報

13:40～14:40 第2部 「塗工方式とスケールアップ」 … 適当な方法は？適切な条件は？

14:50～15:50 第3部 「乾燥のツボ」 … 膜質再現・乾燥時間の見積もり

16:00～18:00 ネットワーキング → 懇親会(希望者のみ)

小田原駅前で対面セミナーは如何ですか？



新幹線で
東京から33分

箱根湯本
まで13分



【講師紹介】

北大工学部修士を経て、富士フィルムで塗工の開発と製造に従事(21年)。その後、サムスン電子で光学フィルム・バッテリー素材開発(6年)、栗村化学で粘着・離型フィルム開発と製造(2年)、米国Zymergen社でバイオ由来ポリイミド開発(1年)、ミドリ安全でニトリル手袋開発(1年)を経て、2023年から現業。Roll To Rollの「スケールアップ」、「高精度化」、「トラブル対策」を中心に顧客企業へ技術支援する傍ら、セミナー・書籍・ウェブ記事を通じ「コンバーティングのツボ」を広める活動を展開中。Roll To Rollの最新をさらに刷新すべく、大学・企業と協働で学会発表にも注力。



AndanTEC
(代表) 浜本 伸夫

【主な活動】

【CONVERTECHセミナー (24.2.2@東京ビッグサイト)】

「エネルギーデバイスにおけるフィルム塗工と乾燥の基礎と応用の最新動向」

バッテリーや半導体を含めた電子材料用の機能性フィルム量産のRoll To Rollプロセスは、WetからDryへの移行に代表されるように新たな局面を迎えている。核となる塗工・乾燥の技術の研究は、計算容量の飛躍的な向上に伴い、数値解析による見える化が格段に進化している。このような解析手法を実験的アプローチの組合せつつ使い分けることにより、プロセス開発が劇的に進化しており、本セッションではエネルギーデバイスに活用されるフィルム部材の塗工・乾燥工程の課題に適した解析方法を紹介した。

【月刊コンバーテック誌 記事 (2021.4から毎月 連載中)】

「韓国コンバーティング放浪記」(2021.4-2022.3)

「理論と現場の融合でRTRプロセスの改善を目指す」(2022.4-2023.3)

「帰ってきた！コンバーティング放浪記」(2023.4～継続中)

【書籍「先端デバイス・マテリアルトレンドレポート vol.2」

第3章 半導体パッケージ製造を支えるテープ・加工・粘着材料技術

第1節 半導体ダイシング用テープ・粘着剤の技術動向

コラム1 日本のモノづくりは何処へ…半導体製造トレンド
台湾企業は九州、国内企業は北海道へ

【note コラム】

「R&Dの複業論」

日本メーカーから外資企業を経てR&Dコンサル

【ウェブコラム】「スロット塗工のツボ①～⑤」

「フィルム異物対策のツボ」

「フィルム製造のツボ」

